



相原中学校だより

第6号
R1. 10. 1

自分を成長させる題材はすぐ近くにある

校長 江戸谷 智章

「SDGs」という言葉をご存じでしょうか。ある企業が今年8月に1500人を対象に行った調査によると、「この言葉を知っている」と回答した割合が4割弱、また、「内容まで知っている」と回答した割合が2割未満であったとのことでした。

「SDGs」とは、国連サミットが2015年に採択した「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことで、気候変動や貧困、飢餓、教育格差、環境保護など、世界が抱える諸問題を17の項目に整理し、2030年までに日本を含む国連加盟国193カ国がその解決に向けて取り組む行動目標のことをいいます。実は私たちが住むこの相模原市は、森林や河川の環境整備や保全において、全国総合6位(首都圏で1位)にランクされるほど、SDGsへの取組が高く評価されています。



ご存知のとおり、世界は今や、人・物・情報が国を越えて行き交うグローバル化が加速的に進展しています。スマートフォンさえあれば、自分がほしい情報はもとより、地球の裏側の情報だって瞬時に手に入れることが可能となりました。今後もさらに、場所や時間に制約されず、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境が整備されれば、もしかしたら近い将来、今ある学校の必要性でさえも問われる時代がやってくるかもしれません。

しかしどうでしょう、確かに、山ほどある情報の中から、誰に教わらなくても、自分にとって必要な情報をいち早く手に入れることは可能にはなりましたが、その一方で、あまり関心のないことや今の自分に直接影響がないと思える情報は無視され、本当に大事な情報ですら気づかずに見過ごされてしまっていることもあるように思うのです。

事実、今世界では、世界中の人が食べていける量の2倍の量の穀物が生産されているにも関わらず、現実には8億2100万もの人が栄養失調となっています。また、今この瞬間、世界のどこかで、4.8秒に一人の割合で、飢えや病気などにより幼い子どもの命が失われています。さらには、世界では12人に一人の割合で、貧しさなどの理由で小学校にも通えず、労働にかり出されている子どもたちがいます。こういった現実があるにも関わらず、どこか他人事になってしまっている自分がいたりします。

言うまでもありませんが、「興味がないから学ばなくていい」「自分には関係ないから知らなくていい」といったスタンスでいると、これからの予測不能な社会を生き抜いていくための必要な力の全てを育むことはできないと思うのです。身の回りで起きている事実にしっかりと目を向け、疑問を疑問のまま放置せず、それが難解な問題であればあるほど、自分なりの答えをたとえありきたりな答えであっても導き出していく心構えが、これからの時代には必要不可欠だと思うのです。

数ヶ月前ある料理店で、お店の料理をスマートフォンで撮影することを主たる目的として来店したお客さんが、人数分以上の料理を注文したにもかかわらず、その大部分を食べ残して帰ったことから、その店の店長さんが、そういったお客さんの入店を禁止したとの報道がありました。この報道は多くのメディアでも取り上げられ、ツイッター上の投稿は3万件以上にも及んだといえます。

意見の多くは、店長さんに同情したもので、「残したら罰金」のような制度を作ったらどうかなど、規制を設けるべきだとする意見が大半だったように思います。しかしその一方で、「お客はお金を払っているのだから問題はない」、中には「もっと美味しくするなり低カロリーにするなり店の努力も必要」など、消費者側に立った意見も多くありました。私は思うのです。ここで大事なことは、○か×かの答えを出すことが目的ではなく、自分の生活を含め、様々な角度からこの事実に向き合っ、たとえ今日の答えと明日の答えが異なってしまっても、常に心のどこかで、こういった問題を問い続けていくことが大事に思うのです。考えるクセは一朝一夕に身につくものではありません。私たち大人の影響もきわめて大きいものと思うのです。



全国大会に出場して

3年 山田 瑛乃さん

私は、昨年度、相原中を卒業された関口先輩が2年生の時にジュニアオリンピックで優勝したときから、「私も先輩みたいになりたい。いつか全国の舞台に立とう。」と決めていました。

そして今年3年生なり、全国中学校大会（以下、全中）では、予選会も含めて2種目両方で自己ベストで入賞することができ、大きな夢を叶えることができました。

私は2年生の夏に体調を崩し、ベストを出せないままシーズンを終えてしまいました。更には1月には駅伝で右膝を痛め、2ヶ月間近く走れない状況が続き、その後は慢性的な痛みと戦わねばなりませんでした。

今までの道のりは正直とても辛くて、夢の実現は無理だと諦めかけていたこともたくさんありました。でも、「先輩みたいになりたい」という思いは諦めきれず、家族や先生、多くの仲間に加え、数え切れないほど支えられ、頑張り続けることができました。

思えば私はずっと誰かに支えられてきたように思います。全国に向けての大会では、陸上部の仲間がサポートしてくれ、また全中でも家族や先生は私の食事やアップなど、すべてのことに付き合ってくれたり、友達やあまり話をしたこともない人からも「頑張ってるね」と声をかけてくれたり、このことすべてが私の力になりました。感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

これからも支えてくれる人がいるから自分が頑張れること、そして感謝の気持ちを忘れずに練習をしていきます。「大きな舞台でも自分の力を全て出しきれる選手」になれるように、また、夢に向かって絶対に諦めないで競技に取り組んでいきたいと思います。まずは、ジュニアオリンピックで結果を残したいと思います。今後ともよろしくお願いします。



10月の主な日程

10月

- 1日（月）1年合唱リハーサル
2・3年学級練習
文化部門実行委員会
選挙管理委員会
- 2日（火）文化部門前日準備
- 3日（水）第34回優輝祭文化部門（市民会館）
- 4日（木）文化部門反省 最終下校17:00
生徒会専門委員会 選挙管理委員会
- 7日（月）学校へ行こう週間～10/11
柔道着販売8:00～ 諸活動なし
- 8日（火）教育相談開始～11日
- 9日（水）文化部門DVD申込受付
選挙管理委員会
- 10日（木）生徒会選挙運動開始～18日
- 11日（金）陸上部による小中交流
- 14日（月）体育の日
- 15日（火）道徳強化週間～11/1
教育実習（家庭科）開始～10/26



- 16日（水）生徒会代表議会
- 17日（木）生徒会役員選挙リハーサル
3年学級プログラム委員会
- 18日（金）生徒会役員選挙投票・立会演説会
- 21日（月）諸活動なし
- 22日（火）即位礼正殿の儀（祝日）
- 23日（水）3年三者面談～28日
1・2年学級プログラム委員会
- 24日（木）1年授業参観・学級懇談会・
給食試食会
- 25日（金）2年進路学習会・PTA茶話会
- 26日（土）造形さがみ風っ子展開催
（淵野辺公園）～28日
- 28日（月）諸活動なし
- 30日（火）全学年学力テスト
後期第1回生徒会専門委員会
- 31日（水）後期第1回生徒会代表議会

